

# 新治小学校だより



ひびく心 はずむ体 見つめる目

～新治のよさを持續して生かしながら、  
よりよい社会を創ろうとする子どもを育む学校を目指して～

令和5年度

1月号

令和5年12月22日



## 子どもたちの変容 ～5分間の授業～

校長 川島 広子

先月号に「もうすぐ子どもたちが薄氷を手に登校するだろう」と書きましたが、今年は全くその気配がありません。真冬とは思えない温かい日が続いていますが、校長室から見る新治の景色は色とりどりの葉が落ち、冬の季節を感じる色合いになってきています。

毎週月曜日に全校児童が体育館に一堂に会して行う朝会は、私が受け持つ唯一の大切な授業です。新治小学校は子どもたちが「幸せに生きる力」を身に付けることを目標としています。それを学校教育目標の A 自ら進んで学習する力・問題を解決する力 B 他者を思いやる力 C 健康で安全に生活する力 D 地域・社会と関わりあえる力 E 多様性を尊重できる力——の5つに分解し、それらを皆が興味をもって強く心に刻めるよう毎週工夫して5分前後にまとめて伝えています。新治を探索し、そこで見つけたことを写真や動画にしたり、世の中で起きている事、心を動かす世の中の動画を見せたり、大事な事は文字にして見せたり等の工夫で、1～6年生の全校児童の誰もが、ワクワクして聞いてくれるよう努力しています。

今年2月の放課後、公園で遊ぶ新治小の子どもたちの中に、持参したお菓子の容器や包装紙を持ち帰らず放置し、そのごみが近隣の家の庭に入ってしまったという苦情の電話が入りました。すぐに全クラスの担任がごみを捨ててはいけないと指導しましたが、それだけでポイ捨てをしてはいけない理由が理解できたか不安に感じました。公衆ルールを守ることの理解と同時に、ポイ捨てされたごみがその後どうなるのかを教えた方が腹落ちできるのではないかと…。そこで、ポイ捨てされたごみが川から海に流れて海にたどり着き、海鳥や海の生き物たちがエサと間違えて食べてしまう内容の3分間の動画を朝会で見せました。動画を見た後「プラスチックごみは波や紫外線の影響を受けて、小さく細かい海洋プラスチックになり、なくなることも無く海を漂います。それを大きな魚だけではなくプランクトンや小魚までもが食べてしまいます。海岸のごみの約70%が山や町から流れ着いたものだそうです。新治小の子どもが公園に捨てたごみは、梅田川から海に流れてしまいます。私たちにできることは何でしょうか？」と問いかけてその日の朝会を終えました。次の日、昇降口で登校指導（おはようの挨拶）をしていると「校長先生、ごみを拾ってきました～！」という子がいるではありませんか。私はごみ拾いを期待しておらず、ポイ捨てをしないことを理解して欲しいと思っていたのですが、予想を超える子どもたちの行動に驚くと同時に嬉しくなりました。その学年は、今年度の総合の授業でも梅田川の生き物調査を行い、絶滅危惧種、準絶滅危惧種の生き物の学習をしたり、その一環として梅田川周辺のごみ拾いも行ったりしたので、環境保全の意識が高く、何人かの子どもたちは10か月たった今も登校時に自主的に曜日を決めてごみ拾いを行っています。そして、ポイ捨ての苦情もそれ以来なくなりました。

「自然を守りましょう」「自ら学びましょう」「人権を守りましょう」「いじめは許しません」などと抽象的に話をしても子どもたちの心を変え、行動を変えるのは難しいものです。準絶滅危惧種のアゲハチョウの写真を見せて話をすると、子どもたちから次々と目撃情報が届いたり、挨拶をする理由は、相手に心を開くからだと話をするとき大きな声で挨拶するように変容したり、その度に皆の心に伝えたかったことが刻み込まれたと実感しています。朝会の話を通して、子どもたちが新治の環境を守る心や郷土を愛し自分の住む街をより良くしようとする心が育って欲しいですし、大人になった時に何通りもある答えの中から、できるだけ多くの方が幸せになる最適解を出せる人になって欲しいとも思います。そして、多様な価値観を受け入れて、幸せに生きて欲しい等々、小学生のこの大切な時期に伝えたいことは山のようにあります。子どもたちが「幸せに生きる力」を育むために、これからも朝会という授業で伝え続けようと思っています。



### ◆今年の朝会の内容と、育てたい資質能力 ※A～Eは新治小学校学校教育目標5項目

4月	なりたい自分になる（幸せに生きる力を身に付けよう）E	9月	実調査 新治の森にいる虫（自然を守ろう/自ら学ぼう）AD
	タンポポの在来種と外来種（自然を守ろう/自ら学ぼう）AD		答えの無いクイズ（何通りもの答えの中から皆の最適解を）A
	設立時の新治小学校（新治を愛そう/歴史は面白い）D		自分らしく生きる（多様性を理解し受け入れる）E
5月	いじめ撲滅宣言（言葉・雰囲気によるいじめも許さない）B	10月	実調査 新治のトンボ（自然を守ろう/自ら学ぼう）AD
	熱中症とマスク（熱中症は危険（事故報道より））C		梅田川遊水地がいぼり（自然を守ろう/自ら学ぼう）D
	避難訓練の目的（学校内の危ない場所、緊急時の行動）C	11月	新治の方言（新治を愛そう/歴史は面白い/言葉は面白い）AD
	新治の蛍クイズ（自然を守ろう/自ら学ぼう）AD		児童音楽会（3年生の歌とリコーダー演奏）A
6月	蛍クイズ答え合わせ（自然を守ろう/自ら学ぼう）AD	12月	自分らしく幸せに生きる権利（人権週間、いじめ撲滅）BE
	運動会（勝負ではなく、皆で成し遂げることが大事）		新治のお地蔵さん（新治を愛そう/歴史は面白い）AD
	スピーチコンテスト代表児童の発表 BE		冬休み前の会（1年の振り返り/来年の挑戦）AC
7月	挨拶（他者との関わりへの入り口が挨拶）B		
	夏休み前の会（挑戦することを決めて成し遂げよう）AC		

A	自ら学ぶ力・問題を解決する力	学習及び生活の基本がわかる、問題解決する、進んで学ぶ（主体性、理解力、深い学び、探求、情報活用）
B	他者を思いやる力	他者を思いやり、望ましい判断や言動ができる（判断力、規範意識、いじめ撲滅、人間関係）
C	健康で安全に生活する力	健康で安全な生活を心がけ、心身ともに健やか（食育、規則正しい生活、身辺自立、危険回避、防災力）
D	地域・社会と関わりあえる力	社会の一員として行動、地域と豊かな関わり合いができる（郷土愛、環境保全、地域と関わる力、社会性）
E	多様性を尊重できる力	多様性を尊重、望ましい共生社会を創る（自己有用感、人権意識、キャリア教育、コミュニケーション力）

